



令和6年6月28日

春の運動会、楽しくていい経験になった

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

本格的な暑い夏はもうすぐでしょうか？各保育室にはスポットクーラーが2台設置されました。想像以上に強力で、スイッチを入れると比較的短時間で冷えます。それにしても、暑い夏がなかなか来ませんね。1学期もあと3週間、そろそろ園児にたっぷり水遊びをさせたいですね。

さて、運動会も終わり、遊戯室では運動会で使った用具を使って遊んでいる園児の様子が毎日見られます。一番遊んでいるのはおひさま組が使った段ボールですね。3歳児でも少しでも高いところへ段ボールを積み上げようと真剣です。高く積み上げる途中で崩れて、みんなで大笑い。とても楽しそうですし、真剣です。園児にも一番わかりやすく、やってみたい競技だったのでしょね。

それにしても、3歳つばみ組は何をしても可愛いです。ブドウに変身するなんて5歳になると嫌がるでしょう。また、チョウチョに変身して築山に登る姿も可愛かったです。4月に入園して2か月半しか過ぎていませんが、3歳なりに運動会を楽しみ、がんばりました。成長を感じます。

4歳ことり組のバルーンや踊りは楽しそうでした。はじめはバルーンでいろんな遊びをして、みんな楽しんでいました。それが徐々に“バルーンの練習”になって、ことり組のみんなが真剣でした。でも、やらされているのではなく「すこしかっこよくやりたいな」「最後に球を大きく飛ばしたいな」そんな思いや練習の積み重ねが当日の演技に表れていたと感じます。

5歳おひさま組は競技を楽しみながらも真剣勝負です。つなひきでせんせいチームに勝った時はすごくうれしそうでした。先生チームは手抜きを一切していません。練習を積み重ねることでおひさま組全員の力が一つになる感じでした。リレーも結果は勝ち負けがはっきりしましたが、走る姿、バトンの受け渡し、「勝ちたい」という意欲が練習をすることで徐々に高まりました。

みんなで運動会という同じ経験を共有すること、感動を体験すること、悔しさを共有すること、周りからの応援を感じることを、それらすべてが運動会という行事の重要な意味です。4月に比べると、子供たちそれぞれの成長を強く感じます。担任と子供の関係性も強まってきたように感じました。

### 開園50周年記念ワクワクフェスティバル

以前お知らせしたとおり、7月20日（土曜日）ワクワクフェスティバルを開催します。今年は開園50周年なので、花火ともう一つお楽しみが増えました。「マジック」と「ジャグリング」「曲芸」などを組み合わせた、エンターテイメントショーを開催します。札幌を中心に全道、全国で活躍しているパフォーマー-KUROさんをお願いしました。何度か公演を見ました。最高です!!子供も大人も絶対に楽しめます。

KUROパフォーマンスショーをお楽しみに!!

